

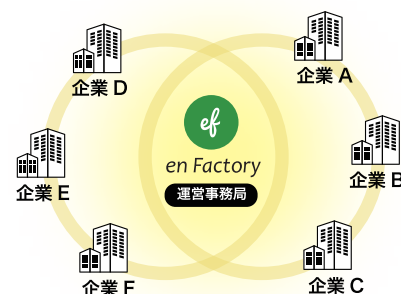
越境に挑戦できる機会・経験、どこまでつくれますか!?

# プロジェクト単位の企業間複業活動 越境 コンソーシアム

日経新聞  
本紙掲載  
されました

変化の激しい時代に、会社組織の内外を問わず多様なメンバーが集まり対話を重ね、課題解決していく「越境活動(※)」がより重要となります。越境コンソーシアムとは、プロジェクト単位で行う企業間複業活動です。

参画企業は、複業人材を募集し、参画企業の従業員が、公募で課題解決に取り組みます。



## 越境活動

複業、平行ワーク、プロボノ、出向など、ホームとアウェイの場を行ったり来たりすることで、自己理解の促進、視野拡大、スキルアップが進む活動のことを指します

## 越境コンソーシアムで提供できること

優良企業の  
生きた現場課題

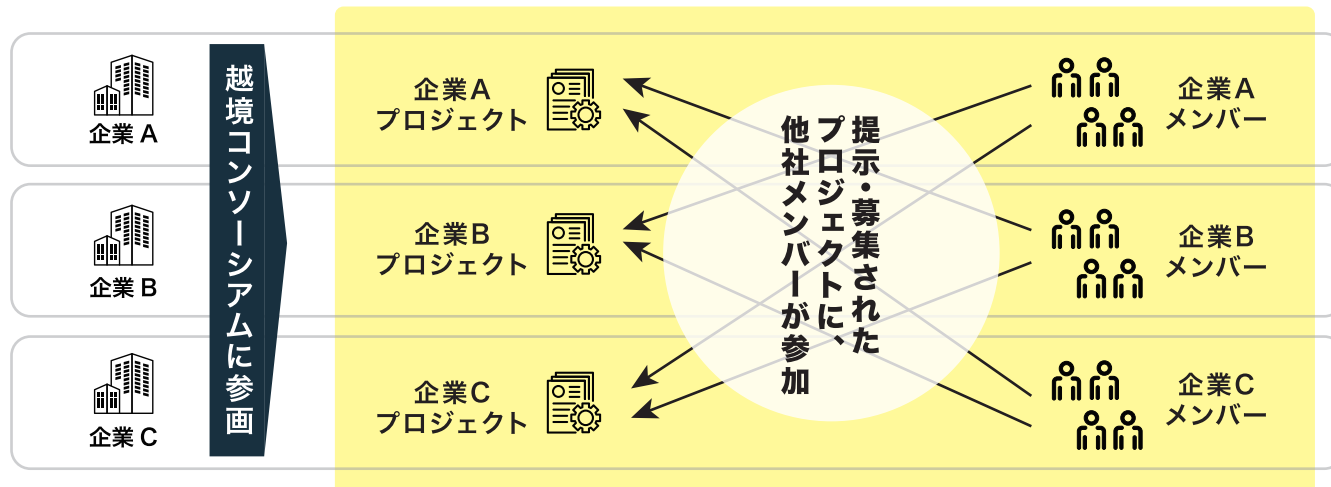
+

従業員の  
越境の機会

業界の枠を超え企業間の「越境学習」を促進

## 越境コンソーシアム構想イメージ

異なる業種・職種からの多様な視点・意見に触れ参画企業メンバー一人ひとりによる新たな価値を創造します



**1 業界の枠を超えた企業間 × 多様なスキルをもつ参画メンバー** で新たな共創を

越境コンソーシアムに参画するのは人事・HR系、営業、マーケティングと多様なスキル・経験をもつメンバーです。普段接することのない課題・人材と課題解決を図ります。

**2 原則 6 週間、月間 30 時間 × ミッションベース** のプロジェクトで成果を

原則 6 週間、月間 30 時間と限られた時間の中で、主体的に取り組むことが求められます。これまでの所属企業での「当たり前」を取り外し、積極的な自己開示を行い、いかに成果を出せるかが鍵になる挑戦です。

**3 経験学習プロセス × ピアラーニング** で越境活動を学びに

取り組みには、エンファクトリー提供の越境プラットフォーム「Teamlancer エンタープライズ」を活用。プロジェクト掲載、応募のプロセスを見える化、他社のプロジェクトを通じて得た学びを週次のレポートで言語化し、学び合います。プロジェクト完了後は、所属企業内で共有会を開催し、組織への波及 / 還元をもたらします。また、より相互理解を促し越境活動を有意義なものにするため、メンター制を導入しています。



## プロジェクトのプロセス

※第一弾トライアル期間

課題提示から最終レポートまでを半年間で4回実践します。

5月

6月

7月

8月

9月

10月

1回目期間

2回目期間

3回目期間

4回目期間

企業から  
プロジェクト  
提示

メンバー  
応募・選考

参加プロジェクトで  
課題解決

最終  
レポート

社内共有

- (1) 越境コンソーシアムへの参画：説明会参加、Teamlancer エンタープライズ登録
- (2) 課題提示：プロジェクトのショートプレゼンテーション
- (3) 応募/選考：プロジェクト参加メンバーの決定
- (4) プロジェクト進行：週次でのレポート提出・メンター主催のサロン参加
- (5) プロジェクト完了：最終レポートの提出、所属企業での共有

※越境コンソーシアムのプログラムやプロセスは、今後変更する場合がありますのでご了承ください。